

出版記念セミナー@大阪

福祉転用による建築・地域のリノベーション

成功事例で読みとく企画・設計・運営

森一彦、加藤悠介、松原茂樹

2018.4.13



福祉転用による建築・地域のリノベーション

趣旨

高齢化が進み福祉・介護への需要が高まる一方、人口減少により空き家、空きビルも急増している。なかには立地に恵まれていたり、地域の人々に親しまれてきた建物や、高齢者が馴染みやすい建物も少なくない。こうした空き家・空きビルの福祉施設への転用はコストも安い場合が多いが、法的な制約も多く広がりに限られていた。

しかし近年、設計者をはじめ関係者の努力と工夫により様々な成功が積み重ねられ、国交省も緩和を真剣に検討しはじめ法改正も目前となっている。

そのような時代の要請に応え、本書では法規・制度のみならず経営の壁をどう乗り越え良質な福祉空間を実現していくか、そのプロセス、成功例、諸外国の経験を幅広く紹介し、それらを踏まえ「福祉転用を始める人への10のアドバイス」を提言した。

本セミナーでは本書の内容を掻い摘まんで紹介するとともに、空き家、空きビルをまちの資産とするために設計者は何ができるのか、皆様とともに考えてゆきたい。

著者を代表して 森 一彦

日 時：2018年4月13日（金）

18時30分開場、19時～21時頃まで

場 所：[大阪市立大学文化交流センター](#)

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

06-6344-5425

資料代：1000円（一般）

無料（学生）

『福祉転用による建築・地域のリノベーション』を
お持ちの方、会場でお買い上げの方は資料代無料

定 員：50名（先着順）

主なプログラム（仮）

- ・福祉転用と地域のリノベーション 森 一彦
- ・福祉転用の10のステップ 加藤悠介
- ・いくつかの事例から読み解く成功のポイント 松原茂樹
- ・福祉転用をはじめる人への10のアドバイス 加藤・森・松原&会場の皆さま

参加申込

- ・また上記ボックスでの送信に不具合がある時は下記にメールまたは上記をファックス下さい。
- ・お申込への返信は、**通常、数日以内**に行ないます。お確かめ下さい
- ・[前田裕資](mailto:maeda@mbox.kyoto-inet.or.jp) maeda@mbox.kyoto-inet.or.jp/FAX 075-343-0810

講師プロフィール

森 一彦 大阪市立大学大学院生活科学研究科教授

加藤悠介 金城学院大学生活環境学部環境デザイン学科准教授

松原茂樹 大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻准教授

○『[福祉転用による建築・地域のリノベーション](#)』

[Amazon](#)で予約受付中

当日会場でも販売致します

○『[空き家・空きビルの福祉転用](#)』

著者グループの前著、日本建築学会編、B5判・168頁・定価 本体3800円＋税

関係者が共通認識を持てるよう建築や福祉の制度・技術を紹介し、様々な限界をクリアしている先進37事例を、その施設運用の実際と共に掲載。